



県警Bチームと互礼を交わす三木Bチーム

事の一戦に勝ち抜いて期待にこたえた。
 続く3回戦は、対「グローリー株式会社本社」との決戦。前半互角の戦いだったが、大将戦で2本負けを喫し、守り抜いてきたベスト16入りは果たせなかった。
 一方、「三木市B」チームは1回戦シードで2回戦に進出したものの、最強チーム「県警剣友会B」といきなり当たり、全員2本負けの5-0で敗退した。なお、この「県警剣友会Bチーム」は同Aチームを破り、優勝している。

(報告) 高橋 洋三

三木市A	先	次	中	副	大	勝	本	代
	栗田	西本	金井	松本	小林	1	3	西本
住友電工	△	コ			メツ			メ
	利倉	前川	山田	松山	寺井	1	3	山田

神戸西	先	次	中	副	大	勝	本
	内藤	松岡	藤本	有馬	横山	0	0
三木市A	コ△	コ	メコ	メメ	コメ	5	8
	栗田	西本	金井	松本	小林		

三木市B	先	次	中	副	大	勝	本
	佐々木	加村	藤田	中谷	木下	0	0
県警剣友会B	メメ	メド	メメ	メメ	メメ	5	10
	野口	樋口	菅野	桐石	佐藤		

グローリー本社	先	次	中	副	大	勝	本
	喜多	馬場	平田	赤松	増田	2	3
三木市A	△	△	メ		コド	0	0
	栗田	西本	金井	松本	小林		



(報告) 澤田 薫

11月23日、兵庫県剣道優勝大会の開会式で、平成26年度少年剣道教育奨励賞の授賞式があり、県内各地域より推薦を受けた12団体が表彰された。
 東播地区では、明石市の大蔵剣友会、稲美町剣道協会と当三木市の三木別所少年剣道教室の3団体が受賞。大柴敏昭氏が表彰状と記念品(記念バッジと面手拭い30枚)を受け取った。

**別所少年剣道教室
 兵庫県剣道連盟より
 少年剣道教育奨励賞
 を受賞する**

東播地区稽古会を三木市で開催 ホースラント・エオの森研修センターに50名

11月15日(土)、ぐんと冷え込んだ秋の午前10時から、平成26年度東播地区協議会主催の稽古会が、三木市別所町のホースラントパークエオの森研修センター大体育室において開催され、東播地区各市の剣士50名が参加、三木市からは16名が参加した。

西岡成人指導部長が開会行事の進行をし、開会にあたり平野武彦東播地区協議会会長が挨拶。東日本大震災や各地の豪雨災害等で亡くなられた方々に哀悼の意を表され、危機にあっても強くたくましく生き抜く剣士を育てていきましようとの決意を述べられた。



その後、松本克基三木市剣道連盟青年指導部長が準備体操を指揮し稽古が始まった。

元立ちに、加古川市の高村8段、三木市の伊藤明裕8段のほか各市の7段の先生型約10名が立ち、参加者が我先にと稽古をつけてもらっていた。



稽古は、約1時間30分までの間、途中20分休むことなく狭い道場に鋭い気合を打ち合ったり、音の響きや呼吸の訪れた参加者にとつてめったにできない高段者との稽古で有意義な半日となった。

(報告 澤田 薫)

三木高善戦、滝川に競り勝つ 惜しや小野高ベスト8に迫る ―第61回兵庫県高等学校新人剣道大会

11月7日(金)・8日(土)・9日(日)の三日間、会場高砂市総合体育館で行われた「第61回兵庫県高校新人剣道大会」は、県下7地区の予選を勝ち抜いた新人選手たちが実りの秋にふさわしい熱戦を繰り広げた。

【個人男子の部】 三木の寺尾が出場

初日の7日は男女の個人戦。女子には去年の杉正のような出色の選手はおらず、4高校合わせても出場はゼロ。男子で唯一出場の寺尾航平(三木高)は東播で準優勝しており、昨年は三木東の杉正(女子)が5位入賞を果たしていることから、上位進出を期待したが、個人戦のレベルは高く、辛うじて2回戦を突破したが3回戦で須磨学園の榊原崇人に敗れ、淋しく姿を消した。

三木市内出身者としては志染の寺尾拓(小野)、吉川の岡坂(須磨学園)がこの大会に出場しており、寺尾は個人戦で4回戦まで勝ち上がりベスト16、岡坂は女子団体戦に出場し準優勝であった。

【男子団体】三木1校が出場 翌2日目の8日(土)は、男子の団体戦。

三木から東播地区代表として出場した三木高は、第一試合、1回戦で伊丹北を破った滝川学園と対戦した。昨年も1回戦で対戦しており、昨年同様に接戦であった。先鋒浅井優輔引き分けの後、次鋒一本負け、一歩リードされる。しかし、中堅寺尾航平が踏ん張りコテを連取して取り返し、副将森元響、大将亀園大輝が引き分けに持ち込んだため、僅か1本の僅差

